

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 8

平成30年7月18日

文責 渡辺 富美夫



Let's
Start

小学校外国語科先行実施始まる



自己紹介ゲーム

先行実施による、各小学校で外国語科が始まりました。第1回目の授業は、先生の自己紹介です。“My name is ○○”から始まり、出身地や好きな色、好きなことなどどんどん英語で話していきます。子どもたちの反応は「???’かと思いきや、驚いたり、笑ったり反応をしています。その後の、自己紹介をもとにした〇×ゲームではほとんどの子が正解でした。

いよいよレッスン開始です。写真のように2本のペットボトルを出され、どちらの水を飲みたいか聞かれた子どもたちは「1」「2」など口々に言います。そして、どちらの水がおいしいか飲んでみると「Delicious!」、一方の水は「Bad」。そこで先生が聞きます。「どちらがおいしいか、困ったよね。なぜ?」。すると子どもたちは、「だって、なんて書いてあるかわからない。」

そうです。ペットボトルには「砂とう水」「塩水」とアラビア語で書いてあったので分からなかったのです。でも、日本語で書かれていれば「OK」、中には英語でも「OK」という子もいました。先生たちが子どもたちに気づいてほしかったのは、文字が読めると便利、助かるということです。外国語科と、今までの外国語活動と大きく違うのは、文字を読んだり、書いたりするということです。そのことに気づかせるための第1時間目は、3人の英語支援教員が何度も打ち合わせをして作った自作の授業でした。

このように始まった外国語科の授業は、歌を取り入れたものもあり、楽しみながら繰り返すことで徐々に耳が慣れ、定着していくように工夫されたものがいっぱいです。また、新たな学習としての文字指導についても、発音と結び付けて、動作化し、レッスンしています。



アラビア文字で
書かれたボトル



文字と音の指導

授業は、たくさんの内容ですが、歌や動作化、先生や友だちとのやり取りなど活動が工夫され、テンポよく進むので、あつという間に終わってしまうと感ずるようです。子どもたちの感想に「とっても楽しい。次の英語が楽しみ。」「難しいかなと思ったけど、歌を歌ったりして慣れた。」とあるように、とても楽しみの授業のようです。

第1回外国語教育研究会を、7月5日に開催し、現時点での成果と課題を出し合いました。成果として、「子どもたちは、とても楽しみにしていて、積極的に取り組んでいる」「最初、子どもたちは、先生が言っている英語が理解できなかったが、授業を重ねていくうちに理解が早くなった。聞く力がよくなった」「授業の準備や進め方など担任も学ぶ機会となっている」「『文字と音』をお話や動作と関連付けて習うので、音を聞いて文字がわかるようになっていく」など、子どもたちや教師にとっても多くの成果が見られています。課題として、時間割の調整、担任単独の授業実施、教師の研修、教材の作成(時間と経費)、評価、打合せ時間の確保などが挙げられました。課題については、今後、検討していきます。



音の動作化



文字と音の指導